

7月15日 平和に関する戦争経験者と高校生との意見交換会がおこなわれました

講師：辻村 修一 氏

演題：「終戦から75年 ～今、若い世代に伝えたいこと～」

平和に関する戦争経験者と高校生徒の意見交換会での感想

辻村 修一

自分の意見を持ち、自分だったらどうしたか言えるようにしてほしい。

疑問に思ったら必ず尋ねるようにしてほしい。

困難にぶつかったときは、今までの経験で対応するしかない、だから、色々な人の話を聞いて知識や経験を蓄えてほしい。

北端 梨桜（商業科 3年生）

祖父からも聞いていたが、今と違って想像もつかないが、当時の方達の想い経験は自分達にとって良い経験となるので、昔のことを伝えていくことは大事だと思った。

今は便利で民主的。昔は、色々なことに虐げられたり、欲しいものが手に入らなかったり考えられない生活。辛いこともたくさんあったと思う。短い期間で社会が成長しすぎて、これらの大変だった昔のことを忘れてる。今一度昔のことを考えて行動すべきである。

羽根 颯希（商業科 3年生）

現在、コロナウイルスの影響で、様々なことができなくなり我慢していることも多いが、昔の方達の方がもっと大変だったと思うので、今贅沢は言えないと思った。

困ったときなど、知識がなくて話ができないことが一番恥ずかしいことと思う。戦争のことやコロナウイルスのことも同様に知識を持って話ができるようにしたい。

瓜生 愛菜（国際科 2年生）

ひいおばあちゃんが戦争体験者で、津が焼かれて伊勢も焼かれた話などを聞いたことがあった。戦争の話を聞けるうちにたくさん聞いて、後の世代に伝えていきたい。

昔の生活をきちんと理解し後輩に伝えていきたい。

松井 亜由奈（国際科 2年生）

曾祖父が兵隊として戦地へ行っていたり、地元にも空襲がきて、被害を受けていたり等、幼いころから戦争についての話題に触れることが多く、自分から戦争に関する文学を手にとることもあった。

現在は自分の意見を伝えることや欲しい物があればなんでもすぐに手に入れることができる世の中になった。辻村さんのお話で、学校も戦争のために環境が変わっていたことや、

町が火の海になったことを聞き、そんな悲惨な出来事から現在に至っていることを考えると、時代の流れというものは、本当に早いと改めて感じた。

私たちは、戦争を経験していないので、当時の人達の想いや辛さは、完全に理解はできないかもしれない。それでも、話を聞いて知識にすることはできると思う。これから先、同じことを起こさないように、今、私たちが何かできることはないか、考えていきたいと思った。